

2021年度 教育課程編成・実施の方針（CP）に照らした学修への取組の適切性に関する検証 ＜産業福祉マネジメント学科＞

2021年度の在籍生に対してマイステップ「学びの姿勢ふり返り」を実施し、各項目についての評価点を集計・分析した。項目名とガイドライン、および各項目の評価点は以下の通りである。

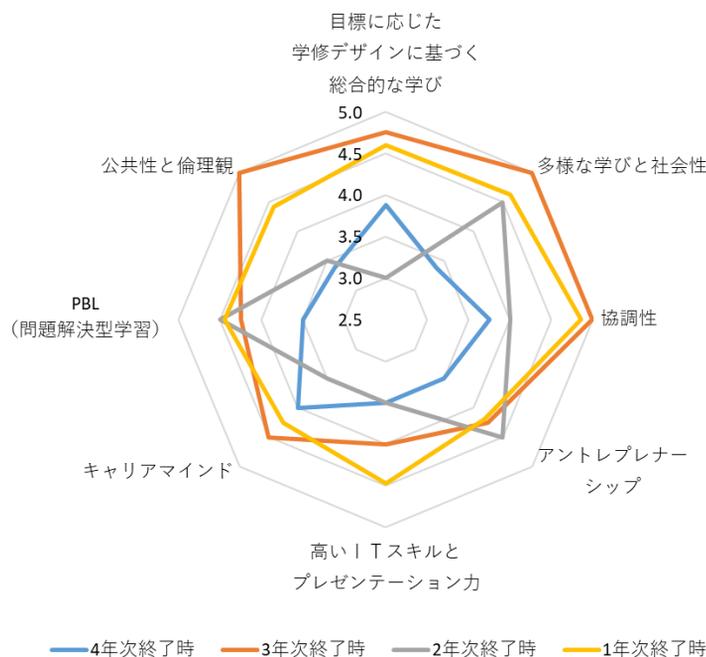
C04.MI.学びの姿勢ふり返り（学科 教育課程編成・実施の方針）

プレビュー

NO	項目名	ガイドライン
11	入力時短	
1	目標に応じた学修デザインに基づく総合的な学び	自らの目標に合わせた履修計画を立てて学ぼうとしている。
2	多様な学びと社会性	授業の授業や副専攻、留学、ボランティアなどを通して多様な学びに取り組み、複眼的かつ高い社会力を養おうとしている。
3	協調性	ゼミの担当教員、課外活動の教職員の部長、ティーチング・アシスタント、ピア・メンター、ゼミの学生、課外活動の部員、友人などとの出会いを通して学ぼうとしている。
4	アントレプレナーシップ	大学のさまざまな社会貢献活動に積極的に参加することにより実践的に学び、地方創生へ貢献したい、あるいは起業するための視点を学んでいる
5	高いITスキルとプレゼンテーション力	授業において必要に応じてコンピュータを利用し、高度なITスキルを身に付け、かつ相手に応じたプレゼンテーション技術を身につけようとしている。
6	キャリアマインド	キャリアに関するセミナーや企業関係者・OB・OGの講演、インターンシップ、資格取得などを通して、職業観を養い、キャリアの目標をより明確にしようとしている。
7	PBL（問題解決型学習）	大学の敷地内、隣接地、地域にある実践の施設などの活用などにより、問題解決への思考と態度をもった学びを実践している。
8	公共性と倫理観	ボランティアなどを通じて社会への貢献を実践している。
9	自由記載欄	気づいたこと、感想、今後の学修への取組など
10	学びの姿勢の資料・レポート・画像等（最大26ファイルまで）	各項目の評価を客観的に裏付けるような根拠資料をアップロードしましょう。

0：全くそう思わない 1：そう思わない 2：あまりそう思わない
3：ややそう思う 4：そう思う 5：非常にそう思う

4年生8名、3年生4名、2年生2名、1年生74名から回答があった。各項目の評価点の平均値を学年別にレーダーチャートにプロットしたのが下のグラフである。差異を見やすくするために、グラフ上では評価点のレンジを2.5～5.0とした。4年次終了時の評価点が全体に低く、自己評価の基準が厳しくなった結果か、あるいは学年による回答者数の大きな違いが反映された結果とも考えられた。



実施時期	目標に応じた学修デザインに基づく総合的な学び	多様な学びと社会性	協調性	アントレプレナーシップ	高いITスキルとプレゼンテーション力	キャリアマインド	PBL（問題解決型学習）	公共性と倫理観
4年次終了時	3.9	3.4	3.8	3.5	3.5	4.0	3.5	3.4
3年次終了時	4.8	5.0	5.0	4.3	4.0	4.5	4.3	5.0
2年次終了時	3.0	4.5	4.0	4.5	3.5	3.5	4.5	3.5
1年次終了時	4.6	4.6	4.9	4.2	4.5	4.3	4.4	4.4

その他、自由記載として、以下のようなコメントが寄せられた。

- ・ITスキルについては一定程度身についた自負があるが、その他項目についてはまだまだである。また、上記の項目を通して2年次を振り返ると、全体的に自分から他者に働きかけることが少なかったように思える。今後はさらに積極性をもって取り組んでゆきたい。（2年生）
- ・本学の先生方の教育方針は素晴らしいとえます。先生方の下で学んでいきたいです。（1年生）
- ・ITに関する知識や技術が欠けているように思える。
今後はITを駆使した問題解決能力なども求められていると考えているため、自発的に行動に映し学びの姿勢に対する苦手意識を取り払っていききたい。（1年生）
- ・社会においてこれらのスキルは必須とされるものが多く、身に付けて損はないと感じた。（1年生）